

AG PRESS

大学だより

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

Oct. 2020 [vol.216]

TOP MESSAGE

学びを止めない、
大学の新たな決意。

AG INFORMATION

STUDENT SUPPORT

4号館カフェテリア (楠元キャンパス)

歯学部・薬学部の学生たちが、食事や休憩、自習など思い思いの時間を過ごすカフェテラス。緊急事態宣言以降、静まり返っていたこの場所にも、活気ある若者たちの姿が少しずつ戻ってきました。

巻頭言

学びを止めない、大学の新たな決意。
学生の皆さんに向けて



対面授業と遠隔授業の組み合わせで 教育の質の向上を目指す

愛知学院大学 学長

愛知学院大学短期大学部 学長 引田 弘道

理解度・満足度を高める新しい
学びの様式の実現に向けて。

令和二年の年頭より猛威をふるってきた新型コロナウイルスも、時が経つにつれて少しずつその実態が分かってきました。このウィルスは直ちに終息するものではなく、むしろ私たちがこのウィルスとうまく付き合っていくことが求められています。常に細心の注意を払いながらも、むやみに恐れることなく社会生活を送る必要があります。

「より良い働き方を目指す」会社が增えつつあります。文部科学省は今後必要な教育内容として、超高度な情報化社会に対応できる人材の育成を第一に挙げています。

本学でも、秋学期は感染防止を徹底させ、少人数の科目を中心に対面授業を行います。大学院、ゼミ、実習、実技、一部の語学など、学生諸君が発表し、討議しあうことを重視するこれらの科目は、やはり対面に勝るものではありません。いっぽう、大人数の講義科目はクラスターのリスクが高く、すぐに対面を始めるのは控えた方が良く判断し、遠隔授業と致しました。遠隔授業も教育方法を春学期よりも一段と向上させ、教室で受講しているのと同等の臨場感をもって臨むことが出来ます。さらに録画記録を繰り返し見ることで、対面では聞き逃してしまった内容を復習することが出来ます。文部科学省は予習・授業・復習をセットとして捉えることが必須であると指導しておりますが、今後本学の授業も、対面の補助機能として遠隔をうまく利用すれば、より一層、教育の充実を図れるのではないかと期待しています。

対面授業と遠隔授業の長所と短所をうまく補完しながら、学生諸君の総合的学習能力の向上に努めてまいりたいと考えております。より一層のご協力をお願い申し上げます。



本来であれば、新入生は入学式に始まり充実した学生生活のスタート、在学生は新たな学問に取り組み、友人との時間、部活・サークル活動、そして就職活動に精を出していたと想像いたします。コロナ禍で無意味な時間のみが流れ、暗中模索の日々を過ごされてきたことでしょう。しかし秋学期に入り、withコロナの掛声のもと一部授業の再開など動き始めています。

大学後援会としても、行事の中で最大かつ重要である保護者相談会を6月に全国30ヶ所余りで開催する予定でしたが、三密回避、保護者、スタッフの安全確保が難しいと判断し、延期したことは痛恨の極みです。その後、授業の一部再開を機に、withコロナを合言葉に保護者相談会を開催することを大学側と幾度となく協議し、10月開催の運びとなりました。例年とは全く異なり、三密を避ける必要に迫られる中、スタイルも大きく変えることになりました。個人情報報

苦難に負けない 気持ちと姿勢づくり

愛知県学院大学
後援会会長

阿部 恵彦

ウェブ登録に加え、開催案内、申込など、ご参加への流れが複雑化したことを、会を代表し改めてお詫び申し上げます。

今、学生の皆様はじめ保護者の皆様にも学生生活に対する不安、悩みなどがあると思います。春学期の成績が出るこの時期の保護者相談会で、ご担当の先生方、職員の方へ、学業、成績、生活指導、そして就職に至るまで、さまざまなことをご質問ください。この機会が、解決への糸口の一助になると信じています。

その他、助成金の活用、残った事業の実行、そして柔軟な対応を心掛け活動を実行してまいります。特にウェブ登録を機に保護者向けウェブ活用を推し進め、スピードかつ正確な情報発信ツール整備を行ってまいります。

最後になりますが、愛知学院大学後援会の活動に対してご理解ならびにご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

AG INFORMATION

[新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について]



FILE1

感染予防

安全・安心のため、今できること

基本的な対策



マスク着用

キャンパスへの入構者全員にマスク着用を促す。



入構禁止措置

発熱・咳等、体調がすぐれない人の入構を禁止。



換気

窓の開放や換気装置の作動による定期的な換気。



消毒

各施設の入口に消毒液を設置。またドアノブ・什器等の拭き掃除。



三密回避

学内施設利用や対面授業での人数設定、ソーシャルディスタンスの促進。



エレベーターの利用制限

体の不自由な方の優先利用のほか、台車利用の方に限定。

学生の心得

- 毎朝の検温と体調の確認を習慣にし、体調不良の際は外出しない。
- 手洗い・うがい、こまめな手指消毒を心がけ、混雑している場所に出かけるのは控える。
- 万一感染した場合に備え、日頃の行動の記録を心がける。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAのインストール。

愛知学院大学では、国の専門家会議で示された「新しい生活様式」を積極的に実践。学内での日常生活における衛生管理、授業の運営、食堂の利用などさまざまな側面で詳細なガイドラインを設け、新型コロナウイルス感染防止策に取り組んでいます。各キャンパスで、施設内・教室の定期的な換気、三密の回避、消毒液の設置、マスク着用などを徹底。教職員・学生はもちろん、学外からの来訪者も含め本学に立ち入るすべての人に行動指針を明確に示すことで、安全・安心なキャンパスの維持に努めています。



TOPICS 01

ガイドラインをもとに
全学あげて感染拡大防止に
取り組んでいます

TOPICS 02

感染防止策を徹底し
通常授業への移行を進めています

春学期は、歯学部、薬学部などの一部の実習を除き、原則として全学でインターネットを活用した遠隔授業を実施しました。しかし、実習や実験、ディスカッションが必要となる演習などは、やはり対面授業でないと高い学習効果が得られません。そこで7月頃からは、他学部でも実習が不可欠な科目は対面授業を徐々に再開。もちろん、少人数科目に限定し教室内の換気を徹底するなど、感染防止策をしっかり講じた上で授業を行っています。



授業・課外活動についての行動指針はこちらでご確認ください



ガイドラインの詳細はこちらでご確認ください



愛知学院大学公式 YouTubeチャンネル

「Web Open Campus」、教員のユニークな研究や学生の声を紹介する「アイガクにmanaべ!」など、多彩な動画コンテンツを通して愛知学院大学の最新トピックスを知ることができます。

<https://www.youtube.com/user/agumovie>



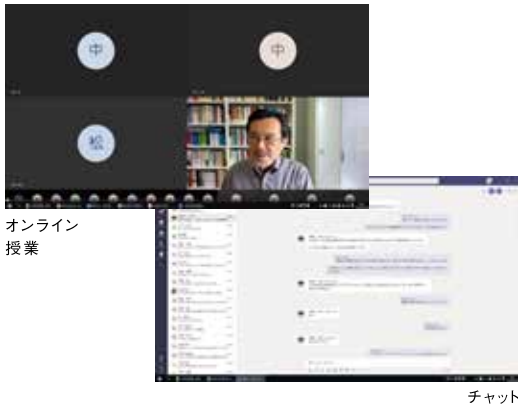
FILE 2

授業

オンライン授業のこれまでと、これから

TOPICS
01

新しい生活様式を実践しながら
安全で効果的な授業運営を
考えています

オンライン
授業

チャット

ICT活用の遠隔授業とは

インターネットに接続されたパソコンを使って教員が講義を行い、学生が自宅で受講する授業のスタイル。

オンライン授業

教員が授業を
リアルタイムで配信

オンデマンド授業

学生が好きな時間に
受講できる

4月10日（金）、愛知県の緊急事態宣言が発令されたのを受け、本学ではキャンパスへの入構禁止措置を取りました。それに伴い、春学期のスタートを4月6日（月）から4月20日（月）に変更。対面授業はICTを活用した遠隔授業に切り替え、定期試験はレポート課題などに変更となりました。4月後半には歯学部・薬学部が先行してオンライン授業を開始。ウェブ会議ツール「Microsoft Teams」を活用し、学生たちは双方向の授業やチャットを通して自宅にいながら学習を進めました。一方、学生数の多い文科系学部では一気にオン

ライン授業を取り入れることが難しく、既存の学生向けポータルサイト「Web Campus」を活用したオンデマンド授業を実施。サイトにアップされた授業動画を学生一人ひとりが好きな時間に視聴できる仕組みを作りました。ただ、教員・学生ともに初めての試みのため、試行錯誤しながらの毎日。学生アンケートから改善点を見出してオンライン、オンデマンドともに授業の質を上げながら、9月19日（土）から始まった秋学期では、対面授業と遠隔授業の併用により安全で効率的、かつ満足度の高い授業をめざします。

Report オンライン授業を体験して

▶ VOICE 01



先生方の工夫のおかげで
質の高い授業が受けられた。

歯学部 歯学科 6年
吉田 知真

春学期の講義が遠隔授業になると聞いた時は、心配でした。ただ始めてみると、見やすいスライドなどの資料作成や授業の進め方を先生方が工夫してくれていて、オンラインでも対面とそれほど変わらず質の高い授業を受けられたと感じています。また授業は録画されており、終わった後も自分の好きな時に繰り返し視聴することができました。そのため、より理解を深めることができました。改善点は、マイクの音声聞きづらかったり、機械の不具合で授業が一時ストップするなどハード面の問題。また、ほかの学生の様子がわからないのは、やはり不安でした。やはり人とのつながりを感じられる対面授業の方が安心できます。

▶ VOICE 02



メリットとデメリットを
踏まえ、今後に備えたい。

総合政策学部 総合政策学科 3年
足立 翔

私は2時間かけて通学していましたが、その時間を復習や課題に当てることができたのは、オンライン授業の大きなメリットでした。授業後は電話で友人と一緒に復習し、理解を深めるようにしていました。ただ、資料の共同作成やディスカッションなどを行うグループワークは対面授業の方がよかったと思います。オンラインの場合、システムの不具合でグループワークに参加できなくなったり、授業後に集まって話し合いをすることができず、学生によって発表テーマに関する理解や知識に差が出てしまうことがありました。今後、大学にはネット環境の整備などハード面での対策を強化していただき、学生も対面、オンラインどちらにも対応できるような心構えが必要だと考えています。

FILE 3

就職

キャリアセンターの取り組み



CHECK 02

インターンシップ参加者の 優遇が顕著化

多くの企業が、インターンシップ参加者を対象に早期選考を実施。その結果、コロナ禍でも4月の内定率は過去最高の水準となりました。

CHECK 01

採用活動を中止・縮小する 業界・企業が増加

エアライン等の旅客輸送を中心とした運輸業や旅行・ホテル業、飲食業が大打撃。2022年卒以降は、業績を判断して採用計画の見直しを図る企業が増えるとみられます。

新型コロナウイルスによる景気悪化に伴い、企業の採用活動にも大きな変化が見られます。感染拡大の長期化を視野に入れ社会や経済の状況を的確に判断しながら、さまざまな業界・企業の採用動向をしっかりと把握し、時勢に合った対策を行いましょ。

TOPICS
01

コロナ禍により就職活動にも変化が生じるのは必至です

CHECK 04

Webを活用した採用活動の加速・定着

ウェブ説明会や面接が一気に加速し次年度以降も定着するでしょう。通信環境・設備の準備はもちろん、オンラインでのコミュニケーション能力やITリテラシーを高めておく必要があります。

CHECK 03

即戦力を求め厳選採用化が進む

採用数を減らし即戦力となる人材を求める傾向が強まる見込み。選考では、学生の持つスキルや資格からポテンシャルが判断されます。

\ POINT /

準備が早ければ選択肢や 可能性も広がります

就職活動に置ける基本的な心構えや対策は、コロナ禍でも変わることはありません。

- ① 大学生活を充実させる
- ② 単位をしっかりと取得する
- ③ 自己分析と業界研究
- ④ 筆記試験対策
- ⑤ 世の中の動きにアンテナを張る
- ⑥ キャリアセンターに相談・報告

この六カ条を大切に、早めの準備を行って余裕を持って就職活動を進めましょう。

キャリアセンターでは、withコロナの就職活動をきめ細かくサポートします。就職ガイダンスや各種セミナー、講座などはオンラインを中心に実施。就職相談は事前予約制の上、面談を行っています。各種コロナ対策を施した上での対面、Zoomを使ったウェブ面談、電話の3つの選択肢を用意し、その時々状況や学生のニーズに応じています。もちろん個別の添削指導や面接指導、求人紹介は通常通り実施するほか、秋から実施される就活直前のインターンシップに向けた指導にも力を入れています。

TOPICS
02

コロナ禍での就職活動をキャリアセンターが手厚くサポートします

/ STUDENT SUPPORT /

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生へのさまざまなサポートを行っています。

FILE 4

大学生活



経済支援

コロナ禍で経済的困窮に陥った学生をサポートするため
各種の緊急支援を実施しました。

種類	対象	給付金額	備考
遠隔授業受講に関する支援	本学学生	10万円	遠隔授業の受講に必要な機器(PC、WiFi機器等)や通信環境などを整備するための補助としての支援
『愛知学院大学 新型コロナウイルス感染症 対策緊急奨学金』	本学に在学する学生で、新型コロナウイルス感染症の影響により学費を負担する保護者等の家計急変のため学業の継続が困難となった者(申請要件あり)	20万円(在学中1回のみ)	募集人数:500名(学校法人全体) ※秋学期第二期募集予定
『学びの継続』のための 『学生支援緊急給付金』	家庭から自立してアルバイト等により学費を賄っていることや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でその収入が大幅に減少していることなどの要件を満たす者(申請要件あり)	住民税非課税世帯の学生: 20万円 上記以外の学生: 10万円	新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、世帯収入の激減・アルバイト収入の激減・中止等により学生生活にも経済的な影響が顕著となっており、大学等での修学の継続が困難になっている学生等が修学をあきらめることがないよう、文部科学省において創設(募集終了)



学生の精神的ケア

コロナ禍で生活や学習環境が一変したことで不安を抱えている学生は多いはず。遠隔授業になったことに伴い、学生相談センターでは学生相談(面談)を電話・メールで行ってききましたが、希望する学生にはオンラインによる面談、また必要に応じて対面での面談も実施しています(要事前予約)。面談室では部屋の換気や飛沫防止パネルの設置、消毒液の設置など感染症対策を万全にしていますから、安心して利用してください。



大学からのお願い

- 新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となった場合は、すみやかに大学に連絡してください。出席停止措置が取られます。
- 発熱、咳、だるさ、味覚・嗅覚異常等の症状が発生した場合は外出をやめ、すみやかに大学に連絡してください。
- 大学ホームページやWeb Campus等で発信される情報を常に確認し、適切な行動をとってください。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをインストールしてください。



クラブ活動サポート

4月の政府の緊急事態宣言発令に伴い、一時全面的にクラブ活動の中止措置を取りましたが、緊急事態宣言解除後、屋外施設で活動する運動系クラブから徐々に活動を再開し、随時状況を確認しながら、制限を緩和していきまし
た。クラブ活動再開の条件として、ガイドラインに則りクラブ活動計画書の提出および毎日の検温と健康チェックを義務付けています。



クラブ活動再開ガイドライン

1. 部員一人ひとりの意思を尊重した「自主的な活動」とし、事前に所属キャンパス窓口へ必要書類を提出し、大学より活動許可を得た上で練習を行う。
2. 顧問部長、監督等指導責任者が練習に立ち会い感染防止に努め、練習前に必ず検温・健康チェックを行い、「検温・健康管理表」を、また2週間ごとに「活動計画書」を所属キャンパス窓口へ提出する。
3. 熱中症への防止対策を行う。

TOPIC

Web Campusへのご登録をお願いします!



大学後援会からの助成により、在学生向けポータルサイトWeb Campus(ウェブキャンパス)を保護者の皆様にもご利用いただけるようになりました。大学や後援会からの重要連絡やお知らせをパソコンやスマートフォンへのメール配信でいち早く確認したり、ご子女の成績表をウェブ上でいつでも閲覧できます(公開時期等は現在検討中)。また、例年ハガキで行っている大学後援会主催行事への出席申し込みも今後は本サイトを經由して行いますので、必ずご登録をお願いいたします。登録に必要なユーザIDとパスワードならびに操作マニュアルは、保証人宛に郵送しているお知らせに記載しています。ご確認の上、登録手続きを完了してください。

| 操作方法、ご不明な点などのお問い合わせ | 総務課 TEL.0561-73-1111